

合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第Ⅱ項 学芸 学部 国際教養 学科

出身高校名 大阪女学院高等学校

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

将来は国際関係の仕事に就いてグローバルに活動することも目標としており、実際に通用する英語力やコミュニケーション能力も身に付けたいと考えます。私が受験した国際教養学科ではほとんどの授業が少人数かつ英語で行われ、また実地で学ぶことのできる留学を軸にしたカリキュラムが組まれています。このように実践的な英語の修得に加え、幅広い視野と思考力を養う環境が備わっていると感じ、志望しました。

(2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

高校入学後、実用的な英語の修得を目指し学習していく中で、自分の実力を測るためにいくつかの検定試験を受けました。今までの学習の積み重ねをこの有している資格で評価してもらえる機会であると考え、AO方式入試の受験を選択しました。

(3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

クラブ活動、委員活動(宗教委員)、ボランティア活動
英語資格(英検・GTEC・CEFR)

以上のことをエントリーカードに記入しました。自己PR文や志望理由書は英語資格と留学体験も踏まえ書き、面接では委員活動、ボランティア活動、海外研修・留学について話しました。

(4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

自分の考えをしっかりと伝えるために具体的な目標を挙げ、体験談を織り交ぜて書きました。体験を通して得たことや気付いたことを述べ、そこから自身が考えている大学で学びたいことを明確にしました。細かいところでは、使う言葉の意味を調べて適切な表現であるか、ニュアンスが違っていないか等、気をつけたり、同じ言葉や表現を繰り返さないように言い換えを工夫したりしました。あとは先生に添削をお願いして何度も書き直し、丁寧にブラッシュアップしました。

〔面接〕

提出したレポート類の内容を端的に話せるようにまとめ直しました。また、アピールポイントについてはブレインマップを用いて自己分析し、話したいことを整理しました。英語面接には、これらのまとめをもとに英語担当の先生と練習し、備えました。

(5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

出願書類も提出する際にエントリーカードに取得した資格を書き、その合格証のコピーを同封します。検定を受ける場合は、9月初旬の提出までに合格証が届くかどうか確認した方が良いでしょう。受験の必須資格は3年生に上がるまでに取ることをおすすめします。